

## 第30回岡山県がん診療連携協議会議事要旨

1 日 時 平成27年4月6日(月) 18:00~19:20

2 場 所 岡山大学病院 管理棟3階 大会議室

3 出席者 53名

### 4 報告事項

#### (1) 岡山県

○がん診療連携拠点病院等の指定に関する結果報告があった。

- ・新規推薦状況は18都道府県 計34施設からあり、がん診療連携拠点病院(以下「拠点病院」という。)12施設、地域がん診療病院(以下「診療病院」という。)21施設、特定領域がん診療連携拠点病院1施設であった。
- ・検討会では、各都道府県による推薦理由のプレゼンテーションが各5分間行われ、その後、検討委員から質問を受けるかたちであった。岡山県には特に質問はなかった。
- ・岡山県からは、金田病院と高梁中央病院が新たに診療病院に指定された。  
1年更新となっている拠点病院は、『放射線治療室への専任の常勤看護師の配置』と『緩和ケアチームの常勤看護師の資格要件』が満たせてなかったためである。今年度、これらの要件を充足した上で再度指定更新申請をおこなう予定である。

#### (2) 事務局・岡山大学病院

○平成27年度 各拠点病院から情報提供があった研修会・講演会について報告があった。

#### (3) 作業部会 等

##### ① 地域連携パス部会

- 平成26年度がん診療連携クリニカルパス登録(届出)状況について報告があった。
- 平成26年度がん地域連携パス算定実績について報告があった。
- 平成26年度在宅緩和ケア地域連携パス実績について報告があった。
- リーフレット『ご存じですか? がん診療地域連携パス 私の診療手帳』について説明があった。
- 在宅緩和ケア地域連携パスについて、岡山県の南西部では緩和ケアフォーラムがあり、そこで緩和ケアに関する地域連携パスが作成されている。岡山県がん診療連携協議会で作成されたパスと内容はほぼ同じであるが、今後は使用を統一すべきなのかとの質問があった。  
→類似のパスがあるならば、岡山県がん診療連携協議会で作成したパスを必ず使用しなければならないという事ではないとの説明があった。  
→岡山県がん診療連携協議会で作成したパスでなくとも、現在使われているパスの実績を事務局へ報告していただければ良いとの説明があった。

##### ② がん相談支援部会

- 1月26日(月)に開催された、第26回がん相談支援実務者会議について報告があった。
- ・12月18・19日「岡山市地域ケア総合推進センター」(在宅医療・介護ほっと安心相談室)開設にあたり、プレオープンにてパネル展示とリーフレットを配布した。
- ・がん相談員研修について、9月のがん相談に関する研修会と12月に就労に関する研修会を行った。
- ・がん相談支援センターのポスター更新を検討中である。
- ・各医療機関の取り組みとして、川崎医科大学附属病院、岡山医療センター、倉敷中央病院より発表があり、情報共有を行った。
- ・岡山県がんサポートガイドのアンケート中間報告があった。回答は9件と非常に少なかった。内容としては、「良い」との意見が多かった。

- ・ 3月2日（月）に第5回桃太郎がんメディカルカフェが開催された。
- ・ 12月に開催された、第4回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会について報告があった。PDC Aサイクル確保にあたり、10名程度で、がん相談支援センターの活動のPDC Aサイクル確保（活動の見える化）等を検討するためのWGが立ち上がり、岡山大学病院のMSWが推薦され、1月20日（火）の第1回WGに参加した。
- 2015年度の桃太郎がんメディカルカフェ開催予定について説明があった。6月1日（月）、10月7日（水）、3月11日（金）に開催予定。

### ③ 緩和ケア部会

- 2月9日（月）に開催された、第14回緩和ケア実務者会議について報告があった。
- ・ がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針が一部改正した。研修対象者は、がん診療に携わる全ての医師・歯科医師となり、また、病院長等の幹部も緩和ケア研修会を受講すること。平成29年6月までに、施設に所属する医師のうち、「がん診療において、がん患者の主治医や担当医となる者」の9割以上の受講完了。
- がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針に関して、補足説明があった。
- ・ 今年度までは、旧指針での開催が可能である。
- ・ 旧指針では一般型開催を推奨していたが、新指針では単位型を推奨している。単位認定は都道府県が担当する。
- ・ 研修医について、新指針ではがんに携わるにかかわらず、全ての医師という表現になっている。

### ④ がん看護部会

- がん看護部会について報告があった。
- ・ がん看護教育プログラム7領域の作成について、3月27日（金）に開催した第33回がん看護部会にて各領域の発表を行った。修正を行い、5月には完成させる予定。平成27年度から、1～3年目の看護師を対象に、各拠点病院・診療病院・推進病院にて、がん看護教育プログラムを使用した研修を実施していく。
- ・ 今年度の秋ごろに、岡山県の看護師を対象とした、「がん看護教育プログラム」の看護セミナーを開催する予定である。

### ⑤ 研修教育部会

- 3月9日（月）に開催された第8回研修教育部会について報告があった。
- ・ 第3回岡山県がん診療連携協議会主催研修会の開催予定について、開催日時：平成27年9月25日（金）19時～ 会場：真庭リバーサイドホテル テーマ：岡山県内の緩和に関する連携

### ⑥ がん登録部会

- 院内がん登録のデータを岡山県がん診療連携協議会のHPに掲載したとの報告があった。

### ⑦ 岡山県がん対策推進協議会

- 岡山県がん対策推進協議会について説明があった。
- ・ 岡山県でさだめている計画の進捗状況を委員に報告し、意見などを収集している。がんに関する教育などについて、現在行っている事だけではなく、今後進めていく事についても意見交換を行っている。

### ⑧ Q I作成WG

- 2月12日（木）に開催された第3回Q I作成WGについて報告があった。
- ・ 岡山県共通の指標としては、緩和ケア研修会の受講率向上・5大がん地域連携パスの算定実績向上・セカンドオピニオンの実績件数向上。

## 5 協議事項

### (1) 緩和ケア研修会 各施設の目標達成に向けた取組

- 緩和ケア研修会の各施設の目標達成に向けた取組について説明があり、参考にさせていただきたいとの発言があった。
- ・対象医師数が約200名と多く、どこまで目指すか悩んでいるところである。開催回数も年2回としているが、それ以上の開催となると負荷がかなり大きいため厳しい。対象医師数が当院と同程度の病院も開催回数は年2回となっているが、それで十分なのかとの質問があった。  
→年2回開催では間に合わないと考えている。院内で受講が難しい医師には、他の拠点病院の緩和ケア研修会に参加をするよう案内をするとの説明があった。
- ・研修医に対して集中的に受講をさせても、研修医は5年程で転出してしまい、常勤を含めた全体の受講率は増えないため厳しいとの発言があった。
- ・各拠点病院の開催予定に加え、募集開始時期なども早めに情報提供いただきたいとの依頼があった。  
→募集案内・開催要項などを事務局に情報提供いただければ、岡山県がん診療連携協議会HPに掲載させていただくとの説明があった。
- ・当院は年2回の開催を予定しているが、現在のところ、院外からの参加者枠は取りづらい状況であるとの発言があった。
- ・県医師会主催（岡山県からの委託）の緩和ケア研修会は、年2回に増やせないのかとの質問があった。  
→現時点では予算の都合と、ファシリテーター確保が困難なことから、年1回開催から増やすことはできないとの回答があった。

## 6 次回開催日

- ・次回開催予定 8月3日（月）18：00～開催予定